

マツムラクサカゲロウ アミメカゲロウ目クサカゲロウ科

Semachrysa matsumurae (Okamoto)

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

加賀市が国内分布の北限であり、隔離された生息地でもある。

形態

翅の開張は約20mmで、体は濃緑色をしている。

国内分布

石川県、大阪府、兵庫県、四国、長崎県、鹿児島県、沖縄県に分布する。

県内分布

加賀市「鹿島の森」が唯一の産地である。

生態

生活史などについては不明である。

生息地の条件

照葉樹林内に生息するが、個体数は多くない。

生存の危機

照葉樹林の伐採が脅威であるが、生息地は国の天然記念物に指定されているため、生存が脅かされることはないと思われる。(A)

特記事項

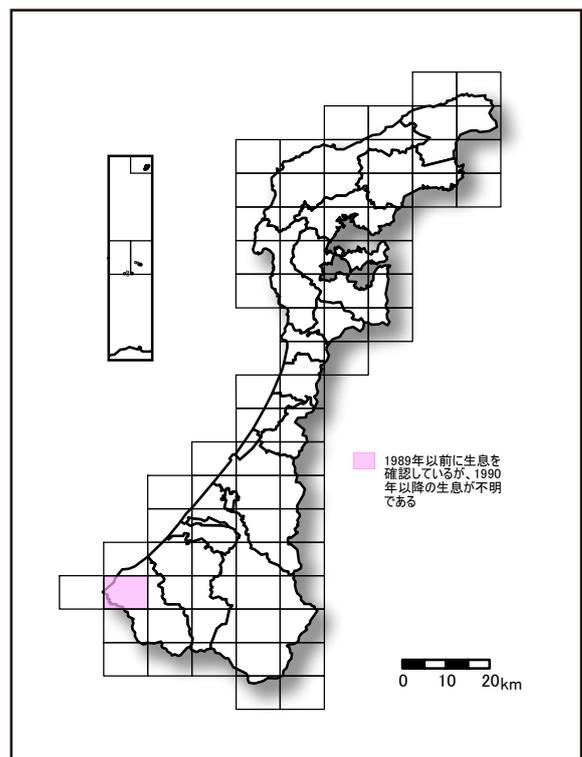
国の天然記念物である「鹿島の森」に生息する。

参考文献

Tsukaguchi, S. 1995. Chrysopidae of Japan (Insecta, Neuroptera). Osaka, pp. 221.



標本提供者: 富樫一次



県内の分布